

## ◆修繕項目と修繕周期の目安 Part2◆

修繕項目			改修区分	概要	備考 (修繕周期)	
区分	工事種別	項目				
機械設備	給排水設備工	FRP受水槽	取替	美観や機能回復を目的に取替	25～30年	
		量水器等の計器			8～10年	
		給水管			15～20年	
		排水管			15～30年	
		汚水管			30～35年	
		給水・排水パイプ	補修・取替	機能回復を目的にオーバーホールや取替	オーバーホール5年 取替15～20年	
	消防設備工事	室内消火栓及び配管	取替	安全性を目的に取替	20～25年	
昇降設備工事		エレベーター	取替	美観や安全性を目的に取替	15～25年	
電気設備	電気設備工事	共用灯・屋外灯	取替	美観や性能向上を目的に取替	10～15年	
		受電・変電設備			20～25年	
		動力設備			15～30年	
	TV受信設備	共聴設備			5～10年	
		共聴器・ケーブル			15～20年	
外構	外構工事	通路・街渠	補修・取替	美観や機能回復を目的に補修・取替	20～25年	
		汚水管	改修		機能回復を目的に改修	15～30年
		雨水管				25～30年
		フェンス・柵等	取替		美観や安全性を目的に取替	20～25年

☆「改修」は、「修繕」と「改良」とを合わせた前向きな投資手段のひとつです。

- ・「修繕」・・・劣化した部分も含め、建物および設備を全面的に修復し、新築時の性能に回復させる事。
- ・「改良」・・・修繕を行う際に時代の先取りや材料・工法の進歩をふまえて快適性や利便性の向上を図る新機能を付加したり、更に長期の耐久性を持たせるために新しい材料や工法を採用し、資産価値を高める事。

※計画的かつ迅速な「改修」こそが維持コストの削減など、様々な面での資産価値の維持・向上へとつながります。

**建物は人間の体と同じです！ 悪くなりつつある所には、早い目の処理が効果的です。**

一般的には、改修の目安は築後10年～15年といわれています。  
当社では、建物それぞれの劣化状況に合わせた改修方法をご提案させて頂いております。  
まずは簡単な現地確認からでも承ります。

詳しいご説明とお見積もりは ⇒ TEL:075-464-0202

